CENTIFIE SUPPOSITION OF THE PROPERTY OF THE PR

この情報紙では、県内各地の社会教育活動を紹介していきます。・

編集・発行: 新潟県生涯学習協会 調査・広報委員会 * 「にいがた社会教育」から数えて447号になります。

〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107号
TEL・FAX: 025-266-1120
E-mail: syakyo56@feel.ocn.ne.jp HP: http://www.niigata-lla.com/

「にいがた生涯学習県民フォーラム2018」 開催

平成30年9月14日台、15日⊕

県、県教委と新潟県生涯学習協会などの社会教育 団体が組織する実行委員会の主催で県立生涯学習推 進センターを会場に開催されました。

初日は県生涯学習推進プランの柱となる「学びから 実践へ」をテーマに講演会やパネルディスカッション が開催されました。新潟の生涯学習、社会教育、公 民館の課題や問題が提起され、会場からも発言があ

ったりと参加 者は多くの気 付きを得た時 間になりまし た。



二日目は実行委員会の企画運営による『防災フェスタ』です。学習課題のひとつである防災学習の機会にと会場内では災害時に役立つたくさんの情報提供があり、700名余の皆さんが立ち寄りました。

また今年も県立新発田農業高校、県立江南高等特

別支援学校、県立柏崎工業高校の生徒さんによる学習成果の発表や即売があり好評でした。



「社会教育関係者元気UP交流集会」開催

平成30年9月29日母

新潟県生涯学習協会は今年度も上記交流集会を柏崎市谷根で開催しました。この事業は公民館などの社会育施設で働く職員及び関係者にとって有効なネットワークづくりと自己研修機会の提供をねらいとして実施されています。

当日は台風24号の接近が危ぶまれる中、若干の欠

席がでましたが 県内外から23 名が集まりまし た。

今回で3回目 の集会は、先ず 話題提供として



千葉県君津市、県内上越市、新潟市から実践事例が 発表され、参加者の活発な意見交換がされました。 君津市の公民館職員は「学びの場を作る者は、常に

自分を高めなければならない。」 と話しました。

また、参加者情報として中教審の最新動向が伝えられるなど



中身の濃い集会になりました。

新潟県生涯学習協会は来年度も本事業の開催する 予定です。

生涯学習聞き歩き

今回は小千谷市に伺いました。お話しいただいたのは小千谷商工会議所の仲ピ津夫専務理事、吉澤健一指導課係長、小千谷市教育委員会の久保田千昭生涯学習課長です。

「まちゼミ」とは、商店主が講師となって専門知識やプロならではのコツを、無料で教える少人数制のミニ講座のこと。講座を通じてお店の特徴や店主の人柄を知ってもらい、お店のファンとなって、お店とお客様との信頼関係を築くことで商店街の活性化などにつなげようというものです。小千谷商工会議所では、平成26年に第1回「おぢやまちゼミ」に取り組んだのを皮切りに、年2回のペースで開催しています。

「食べる・作る」「きれい・健康」「学ぶ」と分野別に色分けされたまちゼミのチラシには、総菜屋さんの郷土食、接骨院のストレッチ、床屋さんのシェービング、建設会社の女性向けDIY、IT関係事業者のドローンによる撮影など、多彩な講座がズラリ。商店主の

得意ネタが並びます。キャッチコピーも内容も参加店のオリジナル。商店主の笑顔いっぱいの顔写真が印象的です。「どうすればお店を知ってもらえるか、お客様が来てくれるか、という工夫が満載で、回を重ねるごとに講座内容がブラッシュアップされています」と担当の吉澤さん。参加者にとっては顔も名前も知っているところで気軽に学べることや、平均5~6人という少人数のため気軽に話ができる雰囲気が好評です。お店にとっても、学びと出

合いで交流が生まれ、顧客ニーズの把握や、品ぞろえにも反映されているとのこと。子どもや親子を対象とした「キッズまちゼミ」やサラリーマン層や若者をターゲットにした「ナイトまちゼミ」など、参加者層の拡大にも取り組み、新しいお客様が増えたという参加店の声もあります。

仲専務理事は、まちゼミのスタート時、参加店集め に苦労した点について「小千谷人気質」を挙げました。 小千谷人気質というのは、一言でいえば「しょうしが

第5回 小千谷市

「学びのウィングが広がるおちやまちゼミ」

り(恥ずかしがりや)」。人前に出て「出る杭」になることをためらう傾向が強いので、既存の商店街へまちせミの参加を呼び掛けても、なかなか手を上げてくれなかったそうです。そこで会議所主導の実行委員会方式を取り入れ、郊外店のやる気のある参加店を中心にスタート。参加店の声掛けで、新たな参加店を増やしていきました。参加店のリピート率は7~8割。仲専務理事は「まちぜミにより、商店街を越えたネットワークが生まれる可能性も秘めている」と期待を寄せます。



商工会議所の取り組みについて「小千谷市には民間のカルチャースクールがないため、学びの場を商工会議所が補ってくれている。まちゼミには行政では取り組めないような講座も多く、学びの機会の拡充につながっている」と久保田生涯学習課長。「まちゼミが講師の発掘につながることもあります。生涯学習のウイングが広がり、市民の学びの選択肢が増えるのは良い事」と、生涯学習の裾野の広がりに目を細めていました。

ARRON 地域活動非ラリー

あまめはぎの復活と継承 ~小学校と地域の連携・協働した取組~

「あまめはぎ」は、村上市の山間部、大栗田集落に伝わる小正月の伝統行事です。市の無形民俗文化財にもなっています。近年、過疎化の影響により子どもたちも少なくなり、この行事も行われなくなりました。あまめはぎを体験している方々も高齢になってきており、伝えることも困難となり、行事そのものが無くなってしまうのではないかと心配されています。

そのような中、平成29年度に、山辺里小学校の3年生が総合的な学習の時間の中で、山辺里地区まちづくり協議会と大栗田集落の方々の協力を得ながら「あま



めはぎ」について学び、復活と継承に取り組みました。

集落の方々からは、あまめはぎの歴史、仕草やかけ声などについて、まち

づくり協議会の方々からは、あまめはぎを保存していき たいという地域の熱い思いについてお話を聞きました。 また、実際にあまめはぎに使われている衣装や道具を見 せていただいたり、着用もさせていただいたりしました。 その中で、「あまめはぎを多くの人に知ってほしい。自分たちが実演して、地域の人たちに見ていただこう」と、10月29日(日)の山辺里地区文化祭(小学校と合同開催)で学んだことを紹介したり、実演したりすることにしました。発表に向けての練習では、まちづくり協議会や集落の方々も指導にあたってくださいました。

文化祭当日は約500人の方々が見守る中、子どもたちは堂々と紹介したり、『あんまめはぎましょ、あんまめはぎましょ』のかけ声とともに元気に演じたりして充実

感を味わいました。まちづくり協議会や大栗田集落、山辺里地区の方々も、「地域の宝物」を守り、次代の子どもた



ちに受け継がれていく第一歩となったことを大変喜んでいました。

(取材:新潟県生涯学習協会 調査·広報委員会)

※「あまめ」は囲炉裏等に長くあたってできる"火だこ"で、 「あまめはぎ」は怠け者を懲らしめる意味を持つ。

施設紹介 新発田市立歴史図書館オープン!

今年は維新150年になります。県内では幕末、維新期に関連した催事が開催されたり、新聞等でも紹介されたりしています。

そんなおり県内で初めて新発田市で歴史図書館がオープンしたとの新聞記事が目に留まり、早速出かけました。そこは中心市街地にある蕗谷虹児記念館の傍にあり、市立図書館の庁舎をリニュアールして新たに歴史図書館とした施設です。

江戸時代の新発田藩では12代続いた藩主溝口公が 武士以外の庶民にも文化的活動を奨励したことや、 150年前の戊辰の戦いで新発田城下は戦乱を免れたことなどにより、市内とその周辺地域には多くの古文書など歴史的価値のある物が現存しています。市民の有志の方々からは、このままでは貴重な歴史的資料が散逸してしまうとの危機感がありました。市民の皆さんから寄贈頂いた歴史的資料を適正に保存管理するため、市当局では施設整備を進め、このたび歴史図書館とし て開館しました。

全国各地には歴史博物館、郷土資料館などがありますが、郷土の歴史的資料の収蔵、公開をはじめ、関係する資料や図書を一般の方も閲覧できるのが歴史図書館です。建物は3階建で、1階は展示室、2階は閲覧室、3階が書庫・収蔵庫です。訪問した8月上旬は、「開館記念特別展一新発田藩歴史資料展一」が開催されていました。県指定文化財、市指定文化財を中心とした古文書や絵図等が展示され、貴重な歴史的資料が安住の居場所を得られたようです。次回からの企画展も楽しみです。

今、地域や郷土の歴史、伝統を伝え保存する困難さが県内各地で生じています。関係する資料の収集、保存や研究の多くが地域の団体や個人の努力でなされている現状もあります。市民と行政の更なる協働・連携に知恵を出し合いたいものです。

(取材:新潟県生涯学習協会 調査·広報委員会)

ひと・人・ひと

佐渡市 小澤 三四郎さん

佐渡ジオパークガイドとして、2013 年から活動してきた小澤さん。「ガイド時には お客様の目線に立った話し方や、お客様に見えて いるものをまずは説明することなどを気にしていま す」と話してくれました。

ジオパークガイド以外にも町歩きや金山など、 多様なガイド活動をして、佐渡に来た人々を楽しま せています。



新鸡凰生涯学習協会 インフォメーション

学習支援ボランティア『市民先生』

登録受付中

マどもたちの学びを応援する活動 を始めてみませんか。

登録は県立生涯学習推進センター 牛涯学習情報提供システム[ラ・ラ・ ネット」です。

*問い合わせ 新潟県生涯学習協会 Tel 025 (266) 1120

ねっとわーく

子ども発達支援所「はる」

1年前に村上市内で開設しました。何らかの障がい や支援が必要な子どもたち(0歳~18歳)の療育を専 門家チームがサポートしています。一番は楽しく通って こられる場所になることだと考えています。

具体的な活動は「児童発達支援」、「放課後等デイサ ービス |、「日中一時支援 |、「障害児相談支援 |、「保 育所等訪問支援」等です。

連絡先: 子ども発達支援所[はる][村上市羽黒町] **2**0254(62)7200

掲示 板

県立生涯学習推進センター主催事業 **☆コ**ミュニティリーダー研修会**☆**

期 ■ 平成30年11月22日(木) 13:00~16:00

会場県立生涯学習推進センター

内容「公民館×奈良ひとまち大学」

講師:(公財)奈良市生涯学習財団

佐野万里子さん

申込み・問い合わせ

同センター11025-284-6100

調査・広報委員長のつぶやき 「武士の一分」

昨晩、テレビで再放送「武士の一分」を観ました。何回観てもおもしろいのは盲目の武士(木村拓哉)の悪人退治と美しい妻(檀 れい)とのやりとりの他に、無謀な果し合いを止める友人に放つ言葉「武士の一分でござる」がカッコいいのです。「まーまー」 で済まそうではなく「一分」があるから勝負するというのがカッコいい。妥協の連続で生きてきた私にはカッコよくてまぶしいく らいです。

今、話題の貴乃花親方の引退も相撲取りの「一分」を通そうとしているように見えて共感できます。

人生、一度くらい勝負してみたいと思うのですが現実はなかなか。 (田原)

賛助 会員

~私たちは、新潟県生涯学習協会を応援しています~

For Earth, For Life

株式会社新潟クボタ

菊水

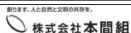


JC1/上越ケーブルビジョン株式会社

◎ 一正蒲鉾株式会社



(秦) 株式会社 池田看板



10.共立印刷株式会社

」さんしん 三条信用金庫



越後製菓株式会社



遠藤製作所







旬 彩 柳 葉 亭



新潟国際情報大学